

平成 28 年度 校内研修の充実に関する調査研究に係る
「校内における現職教育（校内研修）に関するアンケート」集計結果

1 調査研究の目的

教職員一人一人が学びを深めるという視点から、効果的な校内研修の進め方や、それに基づいた展開例等について調査研究を行い、冊子としてまとめ、関係学校等に配布するとともに、研修等で活用することにより、教職員の資質・能力の向上に資する。

2 調査研究の方法

校内研修の現状や課題等を把握し、効果的な校内研修にするための手立てを探るために、アンケート紙を作成し、調査を行った。

その後、アンケート結果の集計及び分析を行い、その結果を基に冊子を作成した。

(1) 質問項目について

校内研修の状況を把握するための質問項目と、授業研究会の状況を把握するための質問項目に分けて作成した。[2 から 4 ページ参照]

ア 校内研修の状況を把握するための質問項目

当センターが平成 22 年度に調査研究を行った「組織力の向上を図る校内研修の充実」のアンケートの項目を基に、4 問の質問項目[(3)から(6)]を作成した。

イ 授業研究会の状況を把握するための質問項目

各校での授業研究会の実施状況や教員の授業研究会についての考えなどを問う 7 問の質問項目[(7)から(13)]を作成した。

(2) 質問紙調査について

ア 対象

当センターの、教職 10 年目研修、教職 20 年目研修、新任学習指導主任研修、新任児童指導主任研修、新任生徒指導主事研修、新任教務主任研修、教頭 2 年目研修、新任校長研修を受講した、国公立の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教員を対象とした。

イ 調査の実施

(ア) 調査方法

アンケート用紙により回答を求めた。

(イ) 実施期日

平成 28 年 6 月から 7 月までのうち、対象となる研修が開催された期日で実施した。

(ウ) 調査実施人数

調査実施人数の詳細については、5 ページに示した。

ウ 単純集計結果[5 ページ以降参照]

無回答者数は少数であるため、表及びグラフ中に示した「割合」は、回答者数に占める割合を示した。

エ 記述式の結果[16 ページ以降参照]

回答の一部を示した。



校内における現職教育（校内研修）に関するアンケート

当センターでは、本年度、校内における現職教育〔以下、校内研修と表記する〕に関する調査研究を行い、教員の同僚性を高めたり、資質能力や組織力を向上させたりするための参考資料を作成したいと考えております。このアンケートは、校内研修の現状を把握し、課題等を整理することを目的としています。昨年度の校内研修の状況、先生方が取り組まれてきたことやお感じになっていることなどをお答えください。

選択式の回答は、該当箇所のマークを塗りつぶしてご回答ください。

☐: 空白マーク ☒: 正しいぬりつぶし ☐: 不十分なぬりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないようにご注意ください。

(1) 本日受講した研修名を選んでください。

- ☐ 教職10年目研修 ☐ 教職20年目研修 ☐ 新任学習指導主任研修 ☐ 新任児童指導主任研修
☐ 新任生徒指導主事研修 ☐ 新任教務主任研修 ☐ 教頭2年目研修 ☐ 新任校長研修

(2) 昨年度の勤務校の校種を選んでください。

- ☐ 小学校 ☐ 中学校 ☐ 高等学校 ☐ 特別支援学校 ☐ その他

●昨年度のあなたの学校の校内研修についてお答えください。

※昨年度、学校現場での勤務ではなかった方は、直近の勤務校のことをもとにお答えください。

(3) 昨年度、校内研修として学校全体で実施したものをを選んでください。（複数回答可）

- | | |
|--|---|
| ☐ 学校課題に関すること | ☐ 学校経営（学校評価、危機管理等） |
| ☐ 教育課程の編成や見直しに関する情報収集や協議 | ☐ 学習・教科指導（授業研究、アクティブ・ラーニングなど） |
| ☐ 学業指導 | ☐ 道德教育 |
| ☐ 特別活動 | ☐ 総合的な学習の時間 |
| ☐ 人権教育（同和問題等） | ☐ 特別支援教育 |
| ☐ ICT活用（情報教育） | ☐ 情報モラル教育 |
| ☐ 児童・生徒指導、教育相談 | ☐ キャリア教育、進路指導 |
| ☐ 学級経営 | ☐ 防災教育、安全教育 |
| ☐ 家庭や地域との連携 | ☐ 出張、校外における研修等の報告 |
| ☐ 幼小連携、小中連携、中高連携 | ☐ その他（食育、性に関する指導、AED講習会など） |



悪い



良い

(4) 昨年度、学校全体での校内研修は、どのくらいの頻度で行われましたか。

☐ 年間に 1、2 回程度

☐ 年間に 3、4 回程度

☐ 月に 1、2 回程度

☐ 週に 1、2 回程度

☐ その他 ()

(5) 昨年度のあなたの学校の取組について、あなたの考えをお答えください。

		当てはまる	どちらか といえば 当てはまる	どちらか といえば 当てはまらない	当ては まらない
1	校内研修の時期や時間、回数が適切に設定されている。	☐	☐	☐	☐
2	校内研修の計画は、学校評価や学校課題などから学校の実態を基に作成されている。	☐	☐	☐	☐
3	校内研修の内容や方法について検討する場が設けられている。	☐	☐	☐	☐
4	それぞれの校内研修の後に、振り返りの時間が設定されている。	☐	☐	☐	☐
5	学期末や年度末に、校内研修についての反省がなされている。	☐	☐	☐	☐
6	校内研修の内容には、教職員の意向が反映され、必要に応じて改善が図られている。	☐	☐	☐	☐
7	校内研修では、個々の教員が得意分野や個性を生かして活躍する場がある。	☐	☐	☐	☐
8	演習を取り入れたり少人数グループにしたりする等、目的に応じて校内研修の方法や形態が工夫されている。	☐	☐	☐	☐
9	校内研修の内容に応じて外部人材や講師を招聘する等、学校外からの支援を得ている。	☐	☐	☐	☐

(6) 校内研修を充実させるためには、どのようなことが必要だと考えますか。(5)の1～9の中から、あなたが特に必要だと思うことを3つ以内で選んでください。(複数回答可)

☐ 1

☐ 2

☐ 3

☐ 4

☐ 5

☐ 6

☐ 7

☐ 8

☐ 9

●ここからは、校内の授業研究会についてお答えください。

(7) 昨年度、学校課題、研究課題、今年度の重点目標等と関連したテーマ等が設定された授業研究会が行われましたか。

☐ はい

☐ いいえ

「はい」を選んだ方は(8)から(13)をお答えください。

「いいえ」を選んだ方は(12)、(13)をお答えください。



(8) 【(7)で「はい」を選んだ方】昨年度、授業研究会は何回行われましたか。

☐ 1回

☐ 2～3回

☐ 4～7回

☐ 8～11回

☐ 12回以上

(9) 【(7)で「はい」を選んだ方】あなたの学校の教員は、授業研究会を重ねるごとに、研究の深まりを感じていたと思いますか。

☐ はい

☐ いいえ

(10) 【(7)で「はい」を選んだ方】学校課題、研究課題、今年度の重点目標等を関連させた授業研究会のテーマ等は、誰がどのように設定しましたか。

(11) 【(7)で「はい」を選んだ方】今後、どのような内容や方法での授業研究会が行われると教員の資質・能力の向上につながると思いますか。具体的に書いてください。

(12) 【(7)で「はい」・「いいえ」を選んだ方共通】授業研究会は必要であると思いますか。

☐ 必要である。

☐ どちらかといえば必要である。

☐ どちらかといえば必要ではない。

☐ 必要ではない。

(13) 【(7)で「はい」・「いいえ」を選んだ方共通】(12)の理由を書いてください。

ご協力ありがとうございました。

栃木県総合教育センター 校内における現職教育（校内研修）に関するアンケート集計結果 （平成 28 年 6 月から 7 月実施）

(1) 本日受講した研修名を選んでください。

	教職10年目研修	教職20年目研修	新任学習指導主任研修	新任児童指導主任研修 新任生徒指導主事研修	新任教務主任研修	教頭2年目研修	新任校長研修
小学校	69	74	52	99	96	96	55
中学校	56	57	21	61	54	37	41
高等学校	47	43	27	19	20	14	16
特別支援学校	33	25	5	7	9	8	5

(2) 昨年度の勤務校の校種を選んでください。

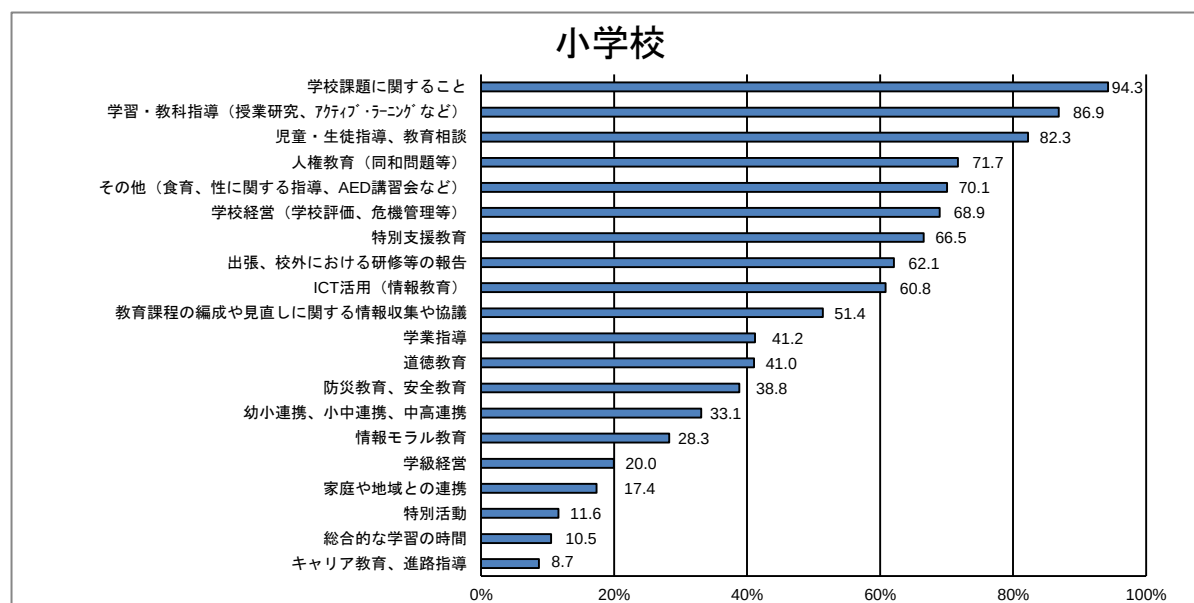
校種	人数
小学校	541
中学校	327
高等学校	186
特別支援学校	92

●昨年度のあなたの学校の校内研修についてお答えください。

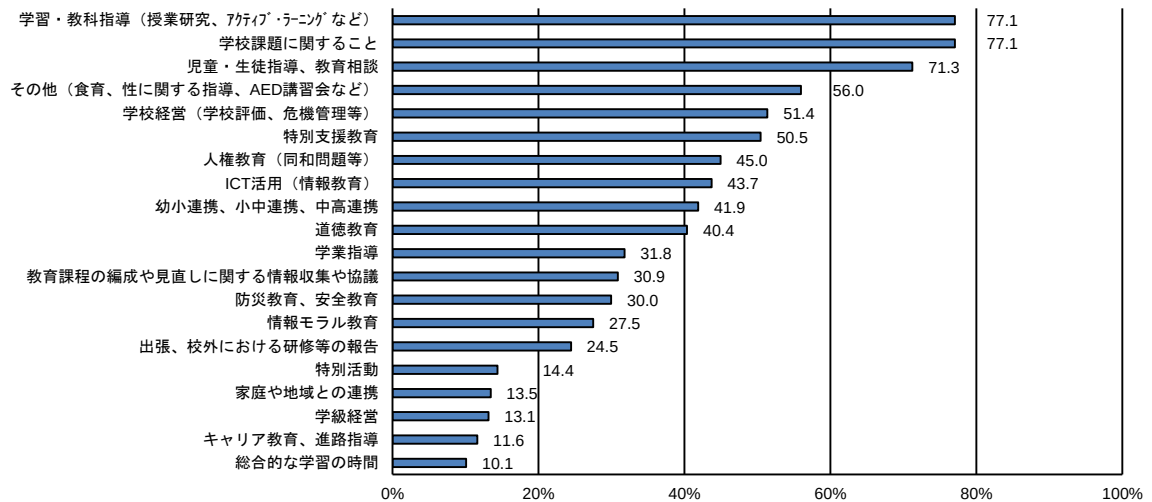
※昨年度、学校現場での勤務ではなかった方は、直近の勤務校のことをもとにお答えください。

(3) 昨年度、校内研修として学校全体で実施したものを選んでください。（複数回答可）

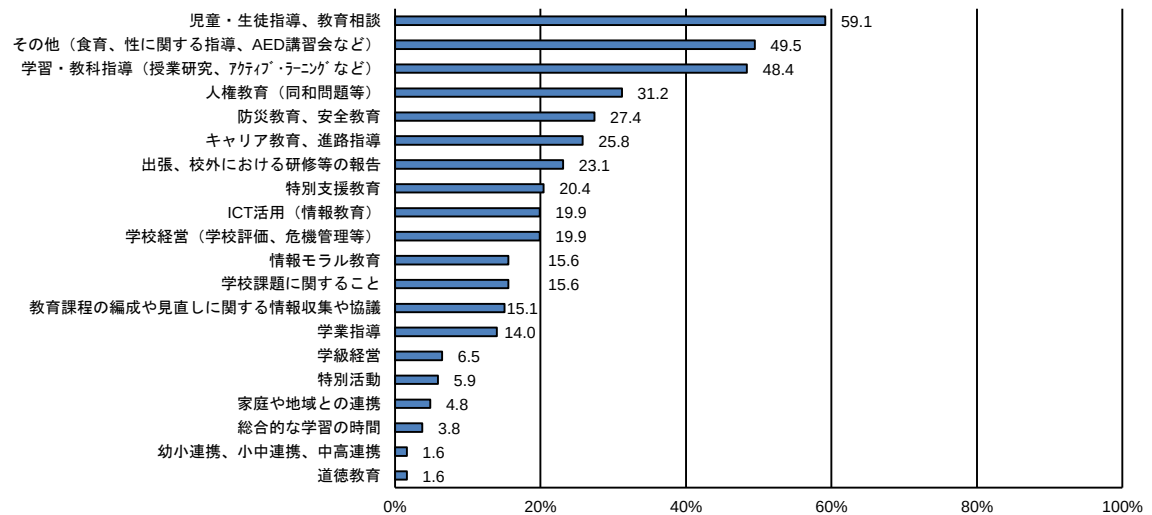
- ・ 学校課題に関すること
- ・ 教育課程の編成や見直しに関する情報収集や協議
- ・ 学業指導
- ・ 特別活動
- ・ 人権教育（同和問題等）
- ・ ICT 活用（情報教育）
- ・ 児童・生徒指導、教育相談
- ・ 学級経営
- ・ 家庭や地域との連携
- ・ 幼小連携、小中連携、中高連携
- ・ 学校経営（学校評価、危機管理等）
- ・ 学習・教科指導（授業研究、アクティブ・ラーニング など）
- ・ 道徳教育
- ・ 総合的な学習の時間
- ・ 特別支援教育
- ・ 情報モラル教育
- ・ キャリア教育、進路指導
- ・ 防災教育、安全教育
- ・ 出張、校外における研修等の報告
- ・ その他（食育、性に関する指導、AED 講習会など）



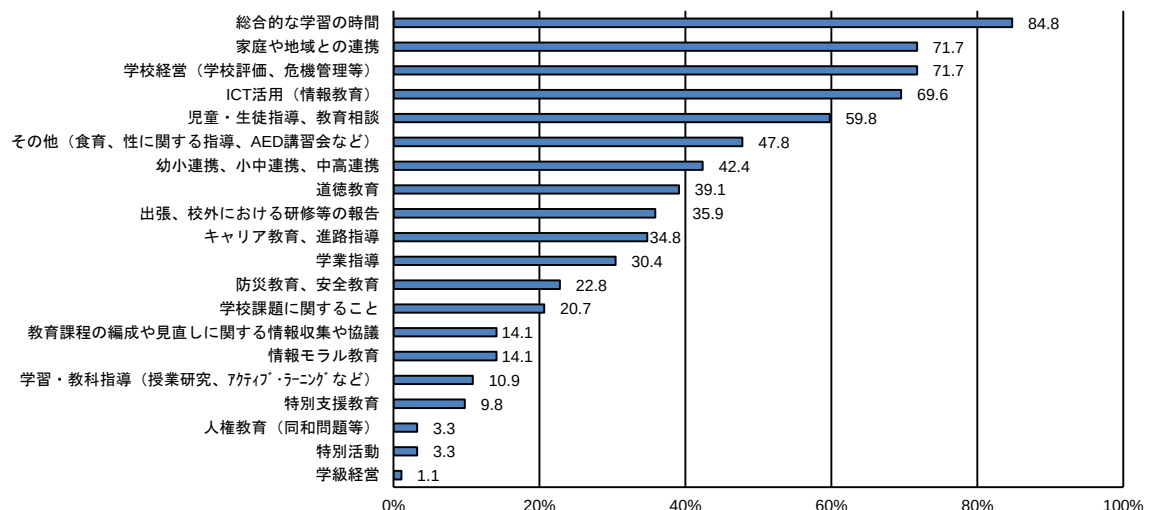
中学校



高等学校



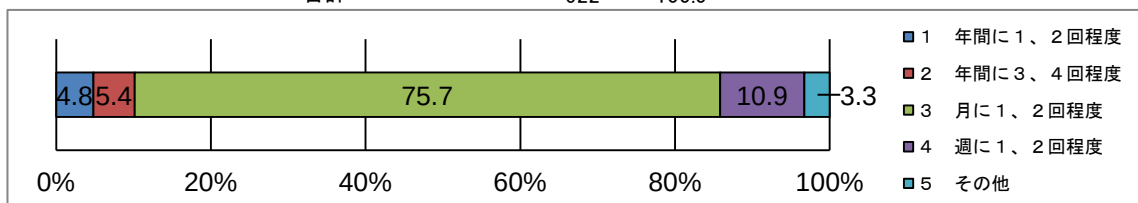
特別支援学校



(4) 昨年度、学校全体での校内研修は、どのくらいの頻度で行われましたか。

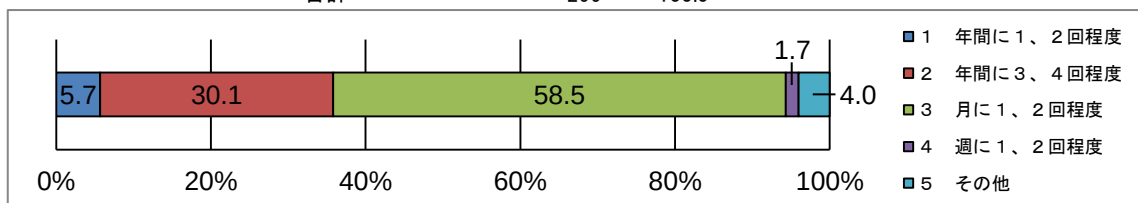
小学校

選択肢	内容	選択数	割合(%)
1	年間に1、2回程度	25	4.8
2	年間に3、4回程度	28	5.4
3	月に1、2回程度	395	75.7
4	週に1、2回程度	57	10.9
5	その他	17	3.3
合計		522	100.0



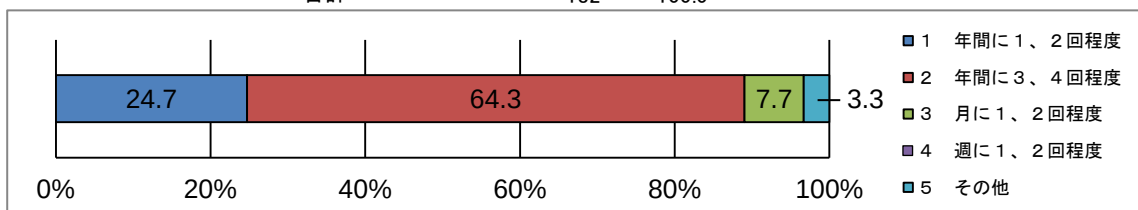
中学校

選択肢	内容	選択数	割合(%)
1	年間に1、2回程度	17	5.7
2	年間に3、4回程度	90	30.1
3	月に1、2回程度	175	58.5
4	週に1、2回程度	5	1.7
5	その他	12	4.0
合計		299	100.0



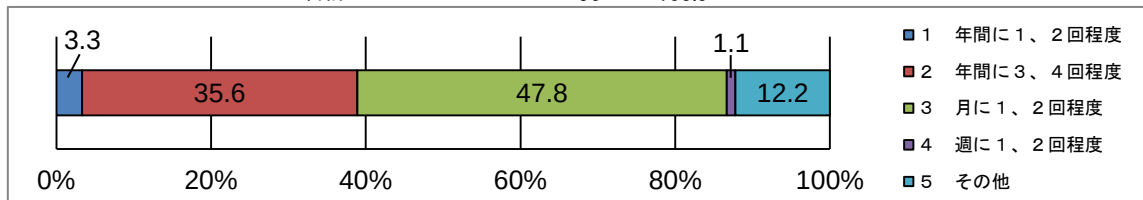
高等学校

選択肢	内容	選択数	割合(%)
1	年間に1、2回程度	45	24.7
2	年間に3、4回程度	117	64.3
3	月に1、2回程度	14	7.7
4	週に1、2回程度	0	0.0
5	その他	6	3.3
合計		182	100.0



特別支援学校

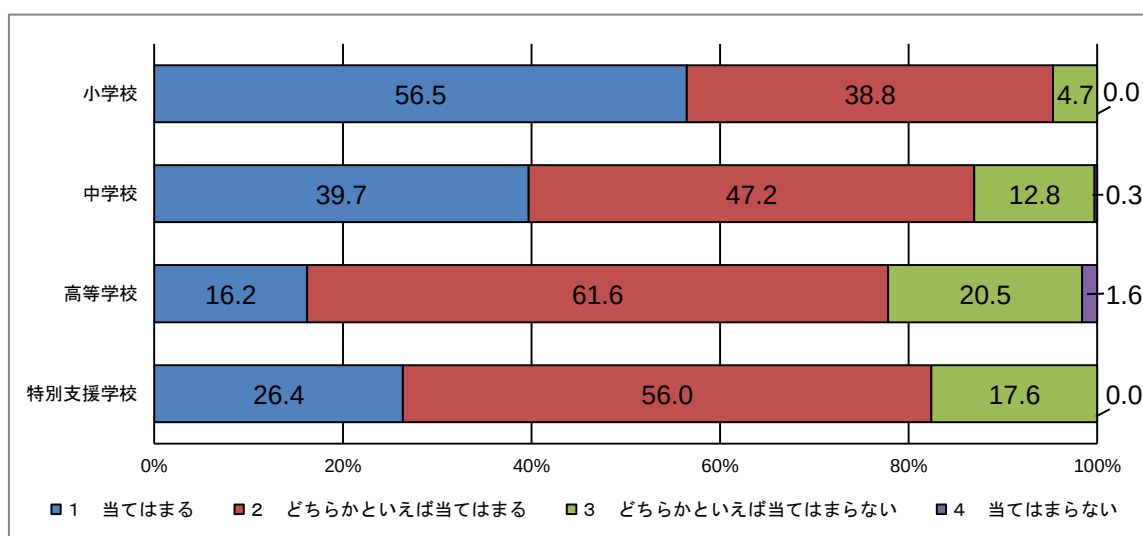
選択肢	内容	選択数	割合(%)
1	年間に1、2回程度	3	3.3
2	年間に3、4回程度	32	35.6
3	月に1、2回程度	43	47.8
4	週に1、2回程度	1	1.1
5	その他	11	12.2
合計		90	100.0



(5) 昨年度のあなたの学校の取組について、あなたの考えをお答えください。

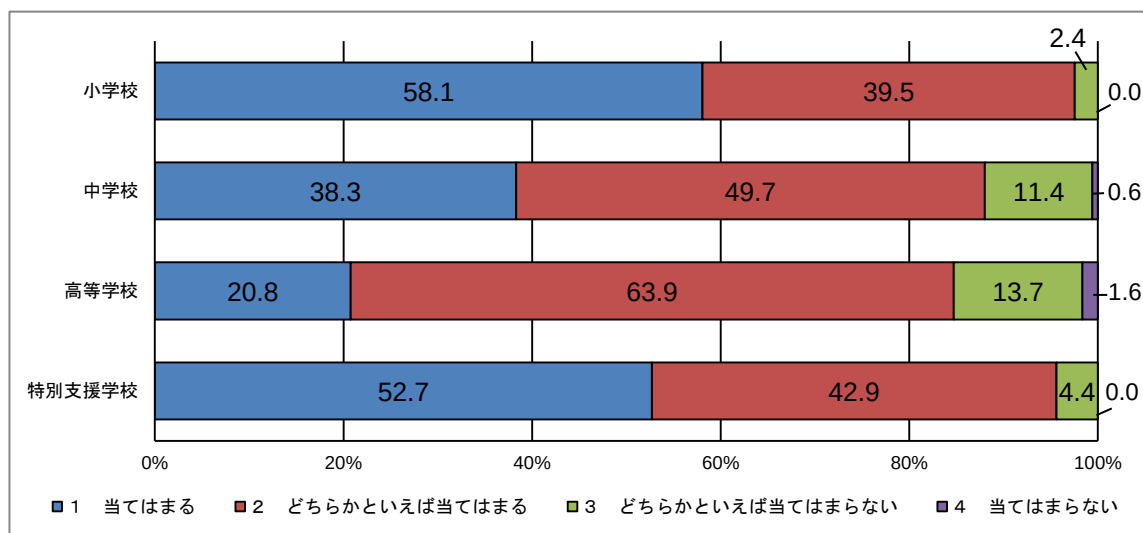
1 校内研修の時期や時間、回数が適切に設定されている。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)
当てはまる	301	56.5	137	39.7	30	16.2	24	26.4
どちらかといえば 当てはまる	207	38.8	163	47.2	114	61.6	51	56.0
どちらかといえば 当てはまらない	25	4.7	44	12.8	38	20.5	16	17.6
当てはまらない	0	0.0	1	0.3	3	1.6	0	0.0
合計	533	100	345	100	185	100	91	100



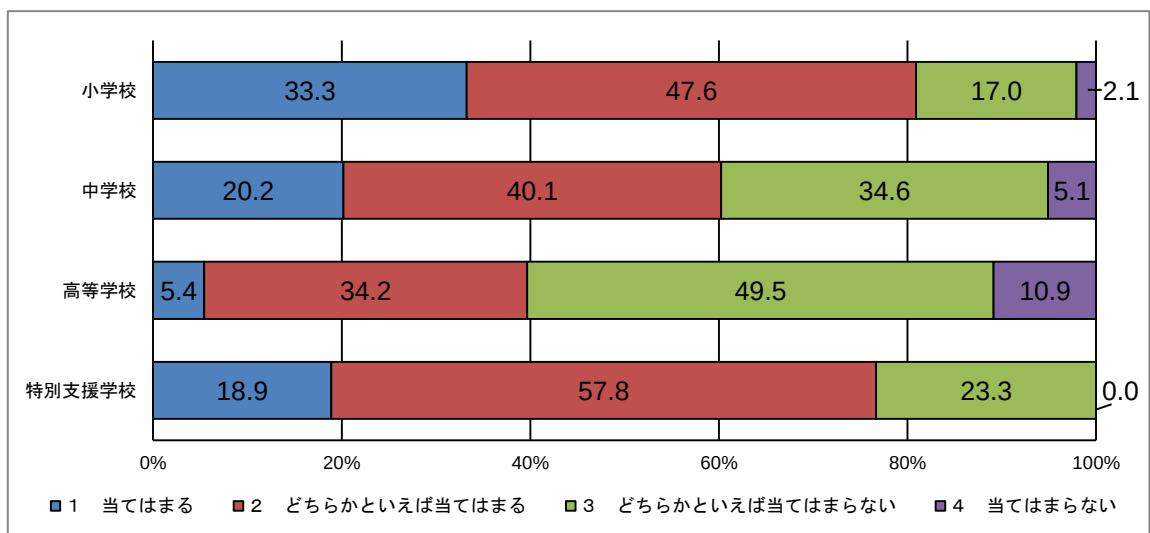
2 校内研修の計画は、学校評価や学校課題などから学校の実態を基に作成されている。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)
当てはまる	309	58.1	131	38.3	38	20.8	48	52.7
どちらかといえば 当てはまる	210	39.5	170	49.7	117	63.9	39	42.9
どちらかといえば 当てはまらない	13	2.4	39	11.4	25	13.7	4	4.4
当てはまらない	0	0.0	2	0.6	3	1.6	0	0.0
合計	532	100	342	100	183	100	91	100



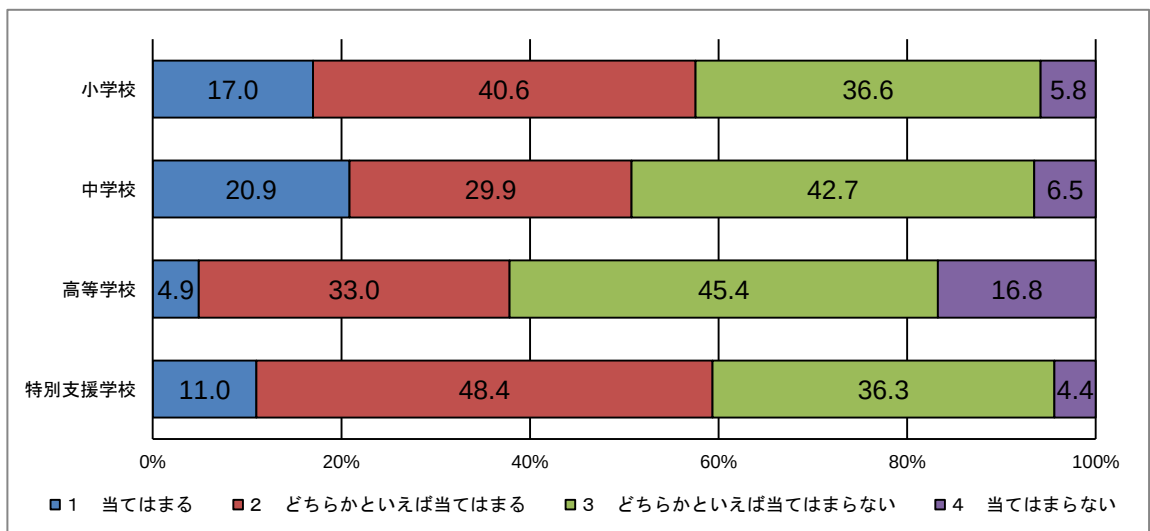
3 校内研修の内容や方法について検討する場が設けられている。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)
当てはまる	176	33.3	67	20.2	10	5.4	17	18.9
どちらかといえば 当てはまる	252	47.6	133	40.1	63	34.2	52	57.8
どちらかといえば 当てはまらない	90	17.0	115	34.6	91	49.5	21	23.3
当てはまらない	11	2.1	17	5.1	20	10.9	0	0.0
合計	529	100	332	100	184	100	90	100



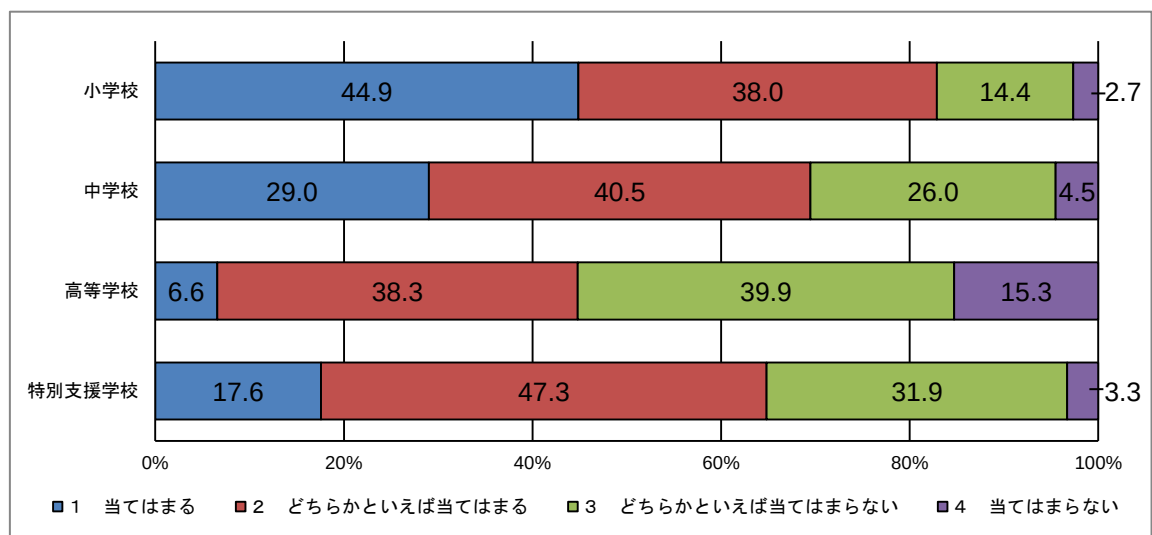
4 それぞれの校内研修の後に、振り返りの時間が設定されている。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)
当てはまる	90	17.0	67	20.9	9	4.9	10	11.0
どちらかといえば 当てはまる	215	40.6	96	29.9	61	33.0	44	48.4
どちらかといえば 当てはまらない	194	36.6	137	42.7	84	45.4	33	36.3
当てはまらない	31	5.8	21	6.5	31	16.8	4	4.4
合計	530	100	321	100	185	100	91	100



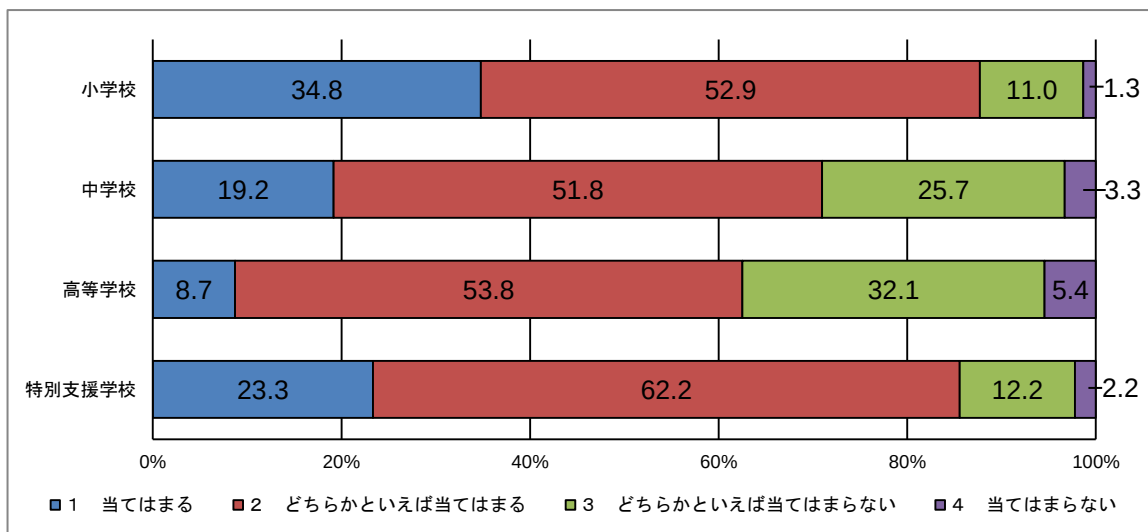
5 学期末や年度末に、校内研修についての反省がなされている。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)
当てはまる	236	44.9	96	29.0	12	6.6	16	17.6
どちらかといえば 当てはまる	200	38.0	134	40.5	70	38.3	43	47.3
どちらかといえば 当てはまらない	76	14.4	86	26.0	73	39.9	29	31.9
当てはまらない	14	2.7	15	4.5	28	15.3	3	3.3
合計	526	100	331	100	183	100	91	100



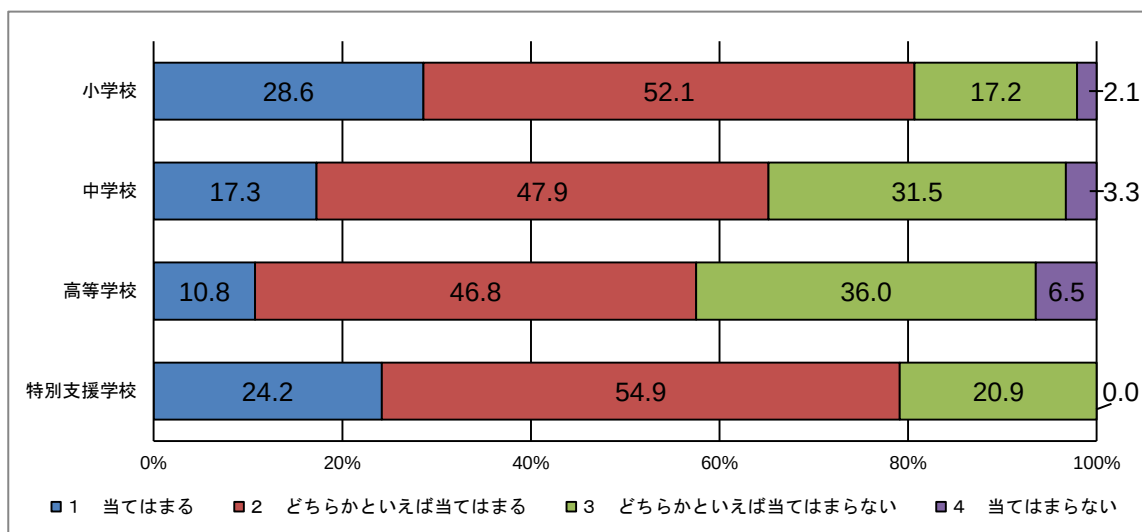
6 校内研修の内容には、教職員の意向が反映され、必要に応じて改善が図られている。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)
当てはまる	184	34.8	64	19.2	16	8.7	21	23.3
どちらかといえば 当てはまる	280	52.9	173	51.8	99	53.8	56	62.2
どちらかといえば 当てはまらない	58	11.0	86	25.7	59	32.1	11	12.2
当てはまらない	7	1.3	11	3.3	10	5.4	2	2.2
合計	529	100	334	100	184	100	90	100



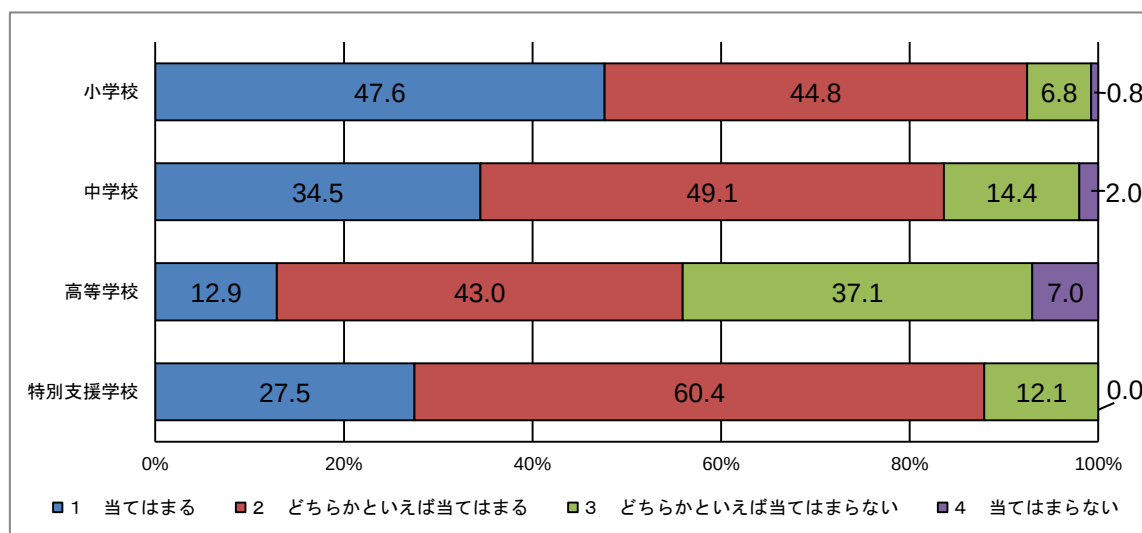
7 校内研修では、個々の教員が得意分野や個性を生かして活躍する場がある。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)
当てはまる	151	28.6	58	17.3	20	10.8	22	24.2
どちらかといえば 当てはまる	275	52.1	161	47.9	87	46.8	50	54.9
どちらかといえば 当てはまらない	91	17.2	106	31.5	67	36.0	19	20.9
当てはまらない	11	2.1	11	3.3	12	6.5	0	0.0
合計	528	100	336	100	186	100	91	100



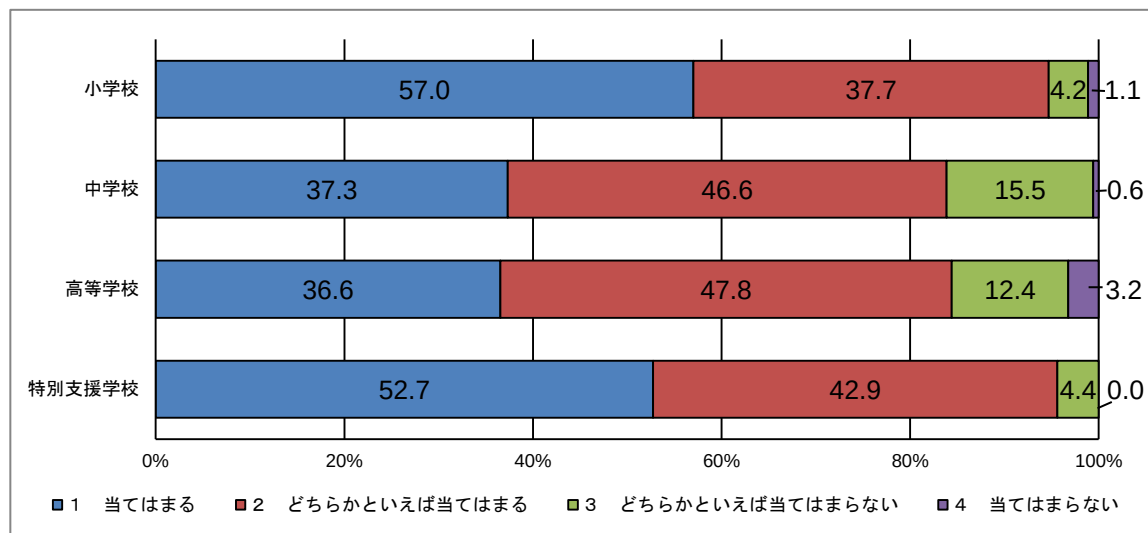
8 演習を取り入れたり少人数グループにしたりする等、目的に応じて校内研修の方法や形態が工夫されている。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)
当てはまる	252	47.6	120	34.5	24	12.9	25	27.5
どちらかといえば 当てはまる	237	44.8	171	49.1	80	43.0	55	60.4
どちらかといえば 当てはまらない	36	6.8	50	14.4	69	37.1	11	12.1
当てはまらない	4	0.8	7	2.0	13	7.0	0	0.0
合計	529	100	348	100	186	100	91	100

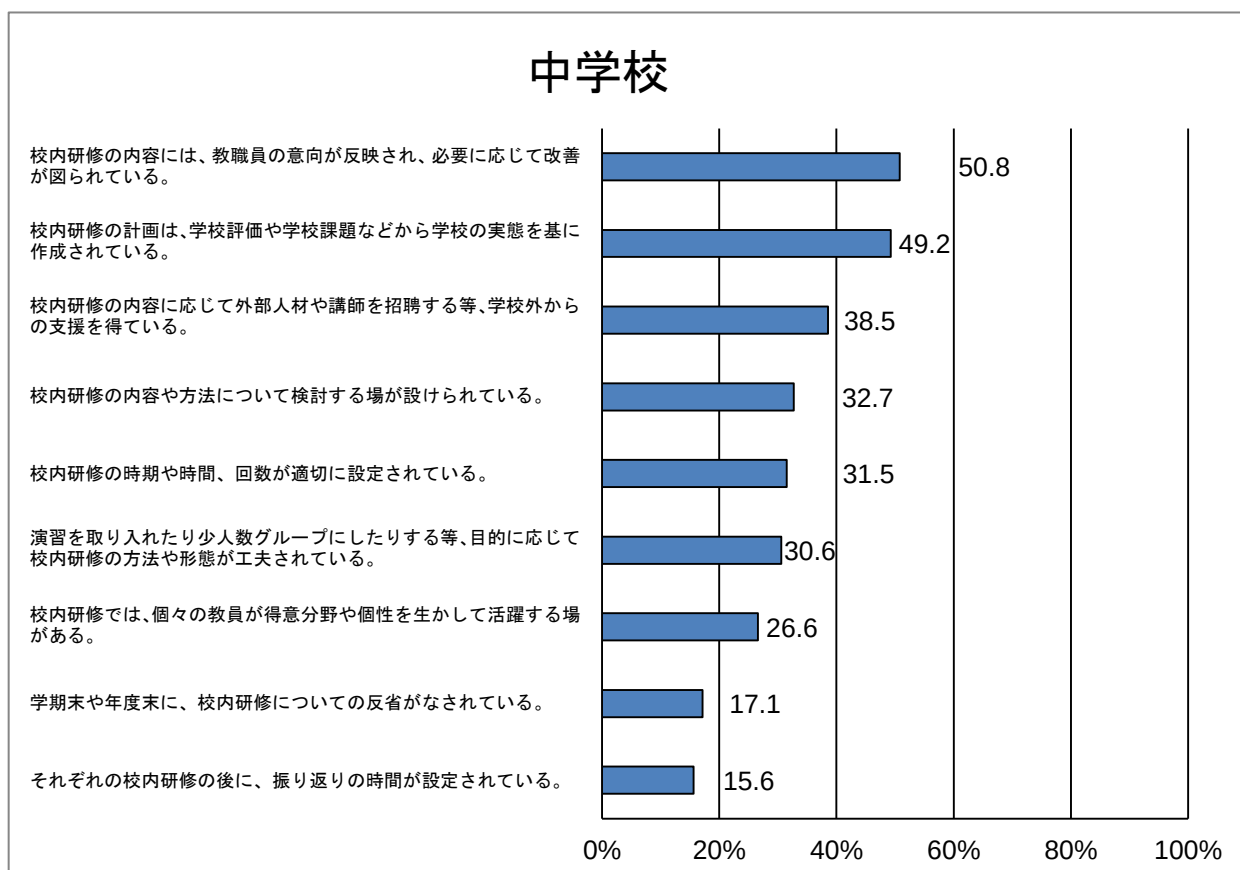
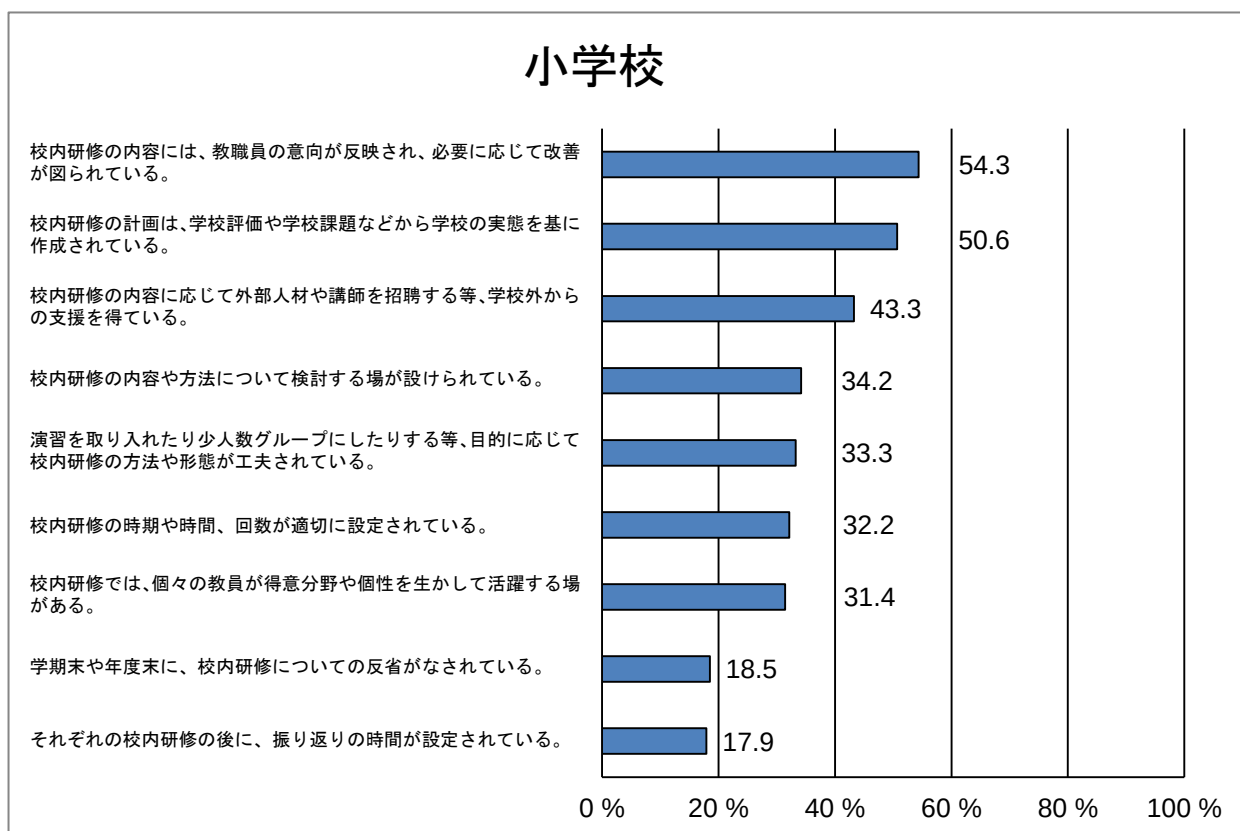


9 校内研修の内容に応じて外部人材や講師を招聘する等、学校外からの支援を得ている。

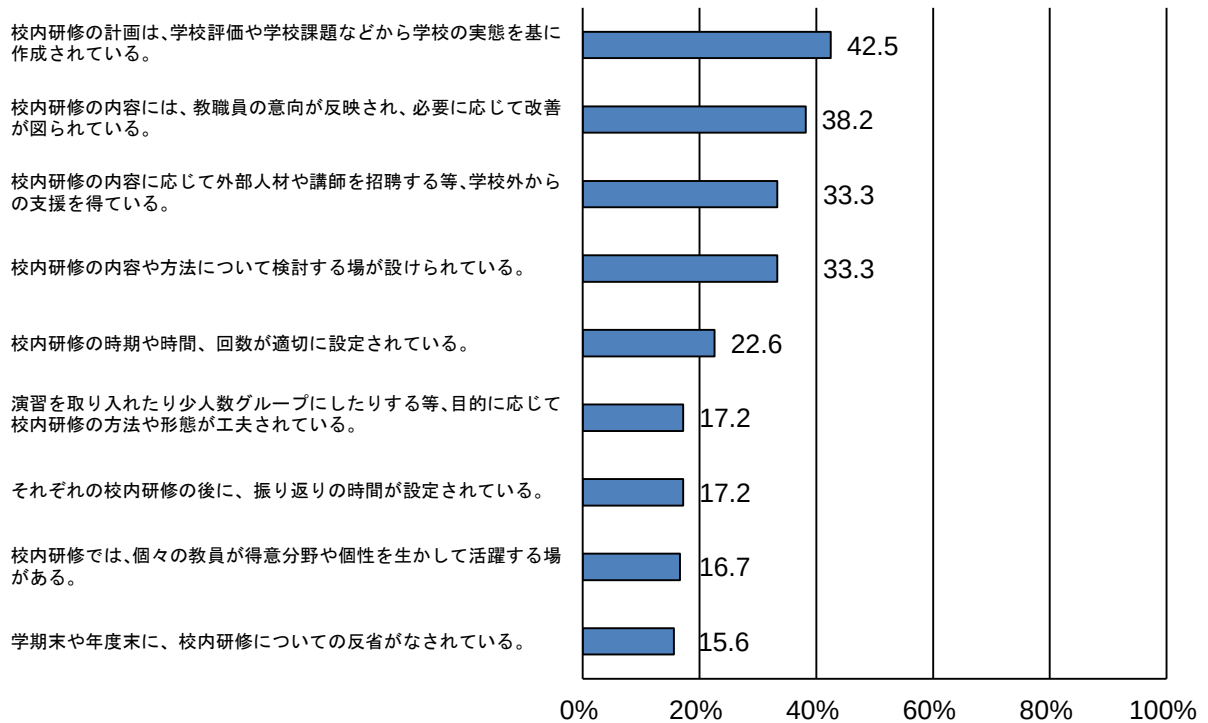
	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)
当てはまる	301	57.0	125	37.3	68	36.6	48	52.7
どちらかといえば 当てはまる	199	37.7	156	46.6	89	47.8	39	42.9
どちらかといえば 当てはまらない	22	4.2	52	15.5	23	12.4	4	4.4
当てはまらない	6	1.1	2	0.6	6	3.2	0	0.0
合計	528	100	335	100	186	100	91	100



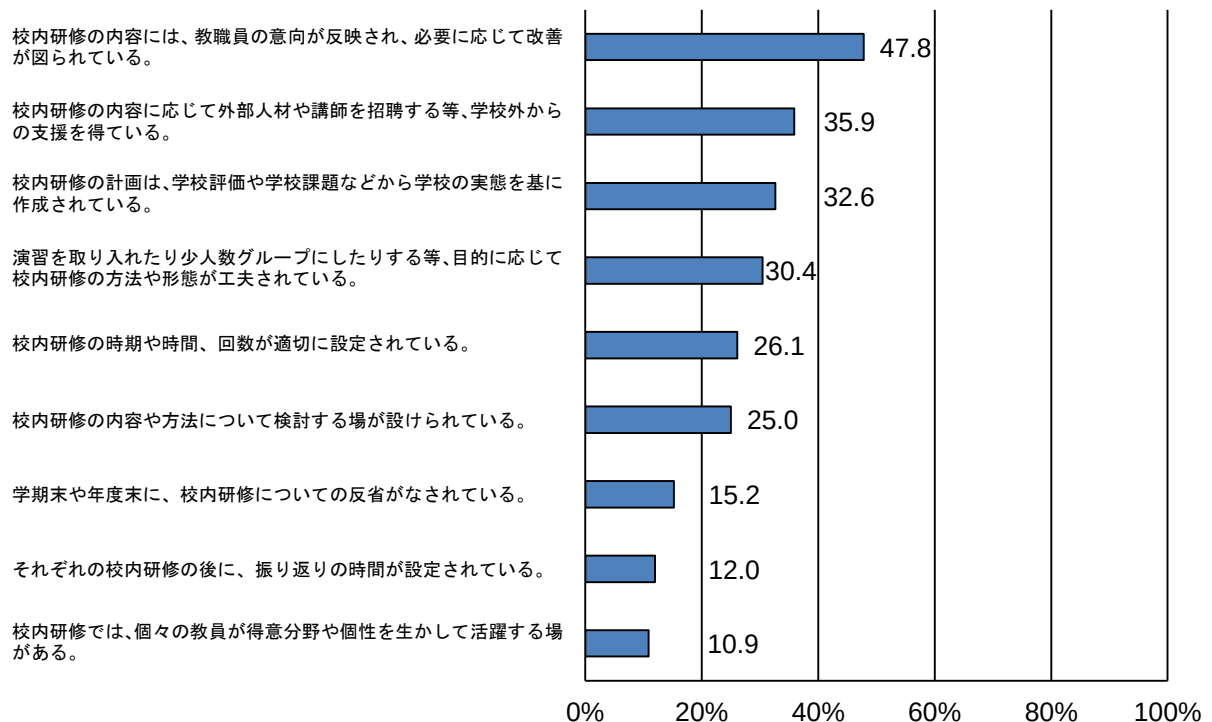
(6) 校内研修を充実させるためには、どのようなことが必要だと考えますか。(5)の1～9の中から、あなたが特に必要だと思うことを3つ以内で選んでください。(複数回答可)



高等学校



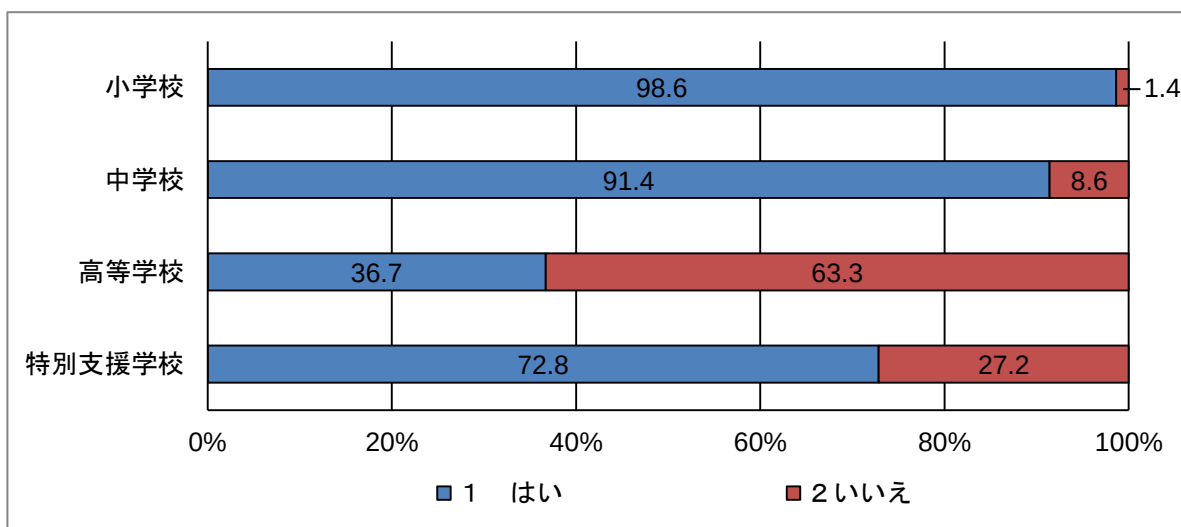
特別支援学校



●ここからは、校内の授業研究会についてお答えください。

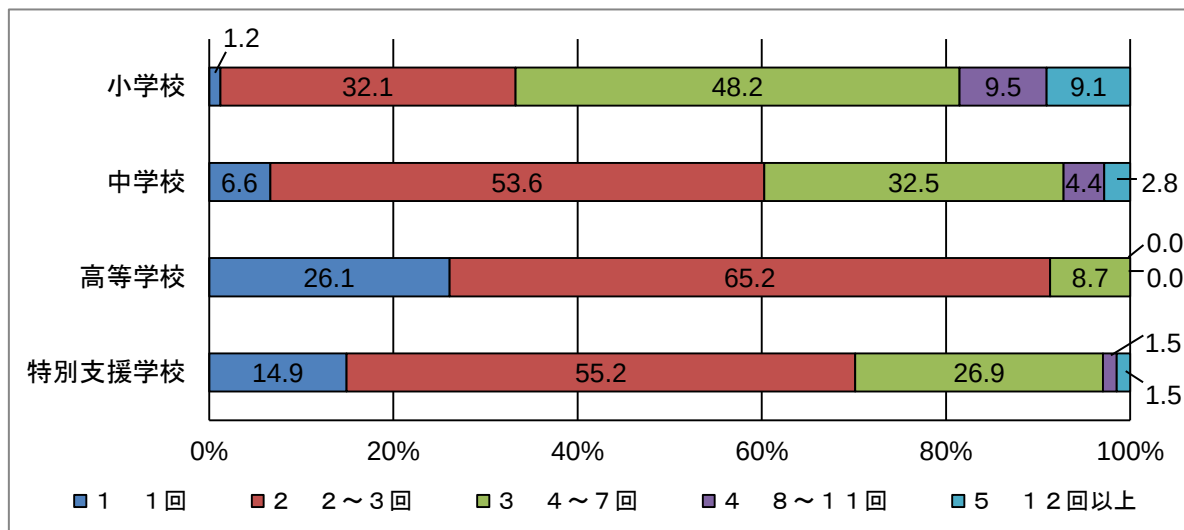
(7) 昨年度、学校課題、研究課題、今年度の重点目標等に関連したテーマ等が設定された授業研究会が行われましたか。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)
1 はい	502	98.6	298	91.4	69	36.7	67	72.8
2 いいえ	7	1.4	28	8.6	119	63.3	25	27.2
合計	509	100	326	100	188	100	92	100



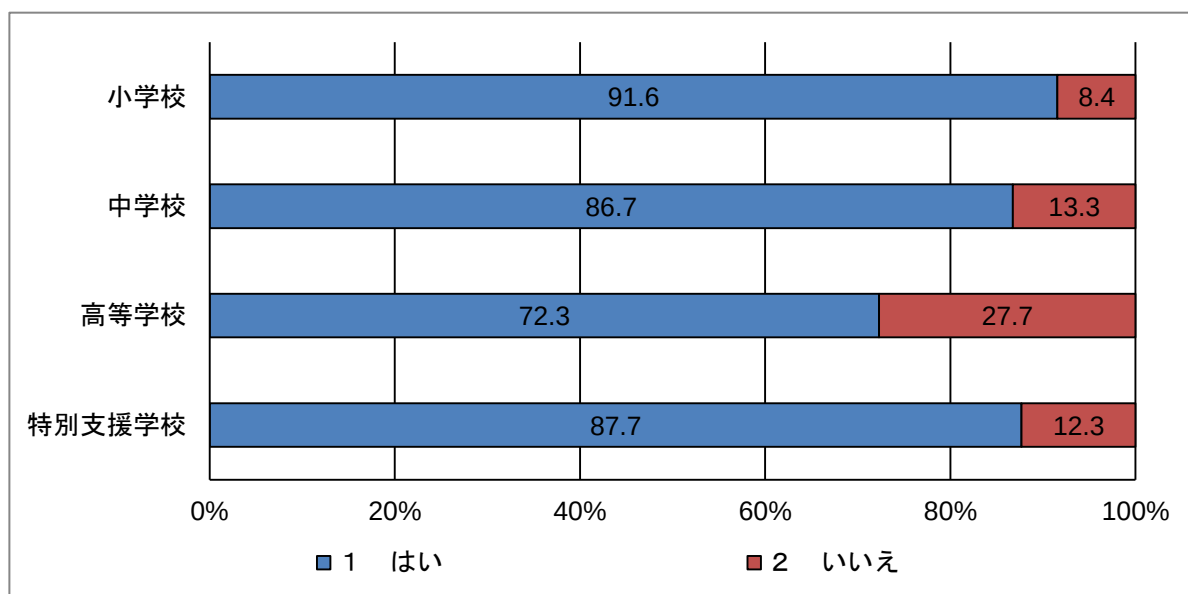
(8) 【(7)で「はい」を選んだ方】昨年度、授業研究会は何回行われましたか。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)
1 1回	6	1.2	21	6.6	18	26.1	10	14.9
2 2～3回	159	32.1	170	53.6	45	65.2	37	55.2
3 4～7回	239	48.2	103	32.5	6	8.7	18	26.9
4 8～11回	47	9.5	14	4.4	0	0.0	1	1.5
5 12回以上	45	9.1	9	2.8	0	0.0	1	1.5
合計	496	100	317	100	69	100	67	100



- (9) 【(7)で「はい」を選んだ方】あなたの学校の教員は、授業研究会を重ねるごとに、研究の深まりを感じていたと思いますか。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)
1 はい	445	91.6	255	86.7	47	72.3	57	87.7
2 いいえ	41	8.4	39	13.3	18	27.7	8	12.3
合計	486	100	294	100	65	100	65	100



- (10) 【(7)で「はい」を選んだ方】学校課題、研究課題、今年度の重点目標等を関連させた授業研究会のテーマ等は、誰がどのように設定しましたか。

学校種や学校の実態に応じて、授業研究会のテーマ等の設定方法は様々だった。記述の一部を紹介する。

- ・学習指導主任、研究主任が中心となり、学校課題解決のための主題等を提示し、全職員で検討し、校長が決裁する。(小)
- ・テーマ内容等、本校児童の現状を踏まえて、全職員から意見を提出してもらい、学習指導主任が中心になって原案を作り、全員で検討し決定する。(小)
- ・教務主任を中心とした学習指導部会での話し合いにより決定する。(中)
- ・学習指導主任が校内の学習指導部での話し合いをもとに立案、設定する。(中)
- ・教科主任、学習指導部、管理職が中心となって設定する。(高)
- ・学習指導部が研修部、当該学部の主事と相談をして設定する。(高)
- ・現職教育係が、テーマ(案)を設定し、管理職が最終決定をする。(特)
- ・研究担当者、学習指導部、教務部での話し合いで設定する。(特)

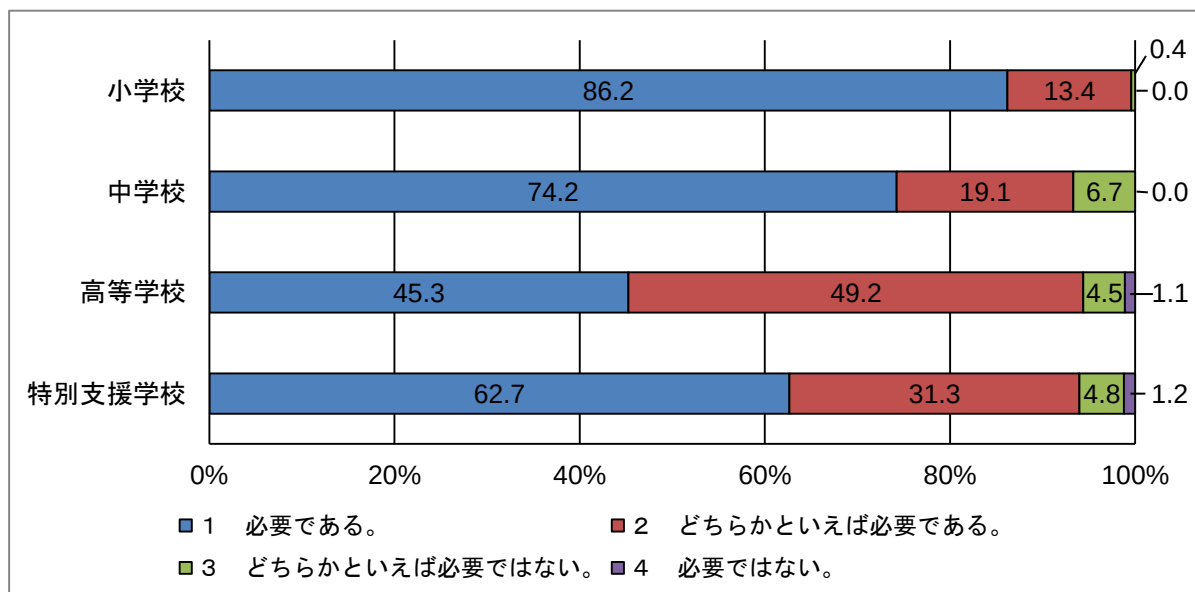
(11) 【(7)で「はい」を選んだ方】今後、どのような内容や方法での授業研究会が行われると教員の資質・能力の向上につながると思いますか。具体的に書いてください。

ワークショップ型研修の工夫や研修目標の共有の大切さ、振り返りなどについて具体的な取組が書かれていた。記述の一部を紹介する。

- ・ワークショップ型の研修を行い、若手教員も意見が述べられるように工夫する。
- ・研修の時間を確保し、グループ協議や全体での検討を充実させる。
- ・グループごとに課題等を話し合い、教職員一人一人が深く考えられるようにする。
- ・研究テーマを具体的に設定する。
- ・課題や重点目標を十分踏まえ、授業を見る観点や話し合う論点が明らかになっている授業研究会にする。
- ・授業参観する時に全職員で同じ観点をもち、それについてグループ討議などで課題について話し合い、その後の日々の授業に生かしていけるような研究会にする。
- ・前向きな意見交換ができ、その意見が事後の授業に生かされるような研究会にする。

(12) 【(7)で「はい」・「いいえ」を選んだ方共通】授業研究会は必要であると思いますか。

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)	選択数	割合(%)
1 必要である。	412	86.2	245	74.2	81	45.3	52	62.7
2 どちらかといえば必要である。	64	13.4	63	19.1	88	49.2	26	31.3
3 どちらかといえば必要ではない。	2	0.4	22	6.7	8	4.5	4	4.8
4 必要ではない。	0	0.0	0	0.0	2	1.1	1	1.2
合計	478	100	330	100	179	100	83	100



(13) 【(7)で「はい」・「いいえ」を選んだ方共通】(12)の理由を書いてください。

記述の一部を紹介する。

「はい」を選んだ方は、自他の授業力の向上につながるといったことを理由として書いていた。
「いいえ」を選んだ方の主な理由として、時間の確保に関することが挙げられていた。

【「はい」を選んだ方】

- ・教員同士が互いに高め合う場として必要であるから。
- ・多くの人たちと意見交換ができるから。
- ・一つの授業を、同じねらいをもった者で共有し意見を出し合うことで、より深まるところから。
- ・自分の授業を他者に参観してもらうことで、我流や自己満足に陥ることを防いでくれると思うから。
- ・社会の変化、生徒の変化に対応するために必要であるから。

【「いいえ」を選んだ方】

- ・放課後は会議等が多すぎて時間が取れないから。何かを増やすなら何かを減らさなければいけないと思います。
- ・教員数が少なく一人あたりの仕事量が多い。多くの問題を抱えている生徒も増えており、時間に追われているから。